

第1回通学区域制に関する有識者会議の概要

第1回通学区域制に関する有識者会議の概要につきましては、次のとおりです。

1 日 時 平成30年8月28日(火) 午後3時から午後5時まで

2 場 所 徳島県庁 9階 教育委員室(徳島市万代町1丁目1番地)

3 出席者

(1) 委員 18名 全員出席

(2) 県 教育長, 教育創生課長 ほか

4 議事の概要

(1) 委員の互選により、山下一夫委員が座長に、近森由記子委員が副座長に、それぞれ選出された。

(2) 事務局から、現行の通学区域制について説明が行われた。

(3) 事務局から、市町村教育委員会に対して実施した聞き取り調査の結果及び市町村から寄せられた要望内容について説明が行われた。

(4) 委員による意見交換が行われた。

(5) 事務局から、県内全ての市町村立中学校及び国立中学校のPTA会長を対象としたアンケート調査の実施が提案され、委員により了承された。

5 意見交換における発言要旨

- ・県内各地で小学校の統廃合が進んでいる。少子化が進行する中、今回の高校の通学区域制の問題は、将来的な展望をもって検討する必要がある。
- ・他の都道府県を参考にすることは必要であるが、公立高校への進学率の高さや地勢的な状況など、本県の事情と異なる場合もあることから、慎重に検討すべきである。
- ・徳島市内の普通科高校に進学したいと考える徳島市外の中学生にとって、通学区域制や8%の流入率は進路選択の幅を狭めるものであり、今すぐにとは言わないが、将来的には通学区域制を撤廃することが望ましい。
- ・現行制度の下でも、徳島市内の中学生の一定数が、希望に反して、徳島市外の普通科高校に進学している実態があり、さらに多くの生徒が遠距離通学を強いられるような状況は作るべきではない。
- ・中学生は、高校の進学実績だけでなく、様々な観点から進路選択を考えており、複数の市町村教育委員会が指摘しているように、高校の特色化・魅力化を推進することが必要である。